

平成25年度事務事業評価調査

整理番号	23	枝番	7
評価担当課	都市整備課 土木係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	バリアフリーに優れたまちづくり事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	12	道路の整備
		基本事業	3	生活道路の整備
		実施計画事業	3	バリアフリーに優れたまちづくり

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	凍上による歩車道の部分的補修、道路排水不良個所の部分改修を行う。また、歩道縁石などの段差解消を図り、人にやさしい道路を提供する。			
対象(何を又は誰を)	市民(高齢者や障がい者など)			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	歩車道の補修、道路排水の改修及び歩道縁石の段差解消を計画的に地区を決めながら行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	歩道や車道の段差をなくし人にやさしい道路を提供する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 (有) 補助等 (請負) その他( )
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	(有) (終期 H28 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (H28年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 計画 歩車道補修他	㎡	目標	7,000	7,000	3,000	3,000	41,000
			実績	7,026	7,303	3,155	—	—
	2		目標					
成果指標	1 目標率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	104	105	—	—
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	23,124	33,821	12,652	20,000	街路整備工事(北地区舗装補修) C=1,491千円 A=632㎡	
国道支出金	16,905	16,948	0	0	街路整備工事(西地区舗装補修) C=1,596千円 A=633㎡	
地方債	0	0	0	0	街路整備工事(東地区舗装補修) C=1,943千円 A=904㎡	
その他	483	10,639	0	0	街路整備工事(北地区道路補修) C=1,271千円 砂利道	
一般財源	5,736	6,234	12,652	20,000	街路整備工事(北地区道路補修)その2 C=1,260千円 A=120㎡	
人件費	3,304	2,673	1,989	1,989	街路整備工事(北栄1丁目線道路補修) C=1,208千円 A=100㎡	
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629	街路整備工事(東8号北線舗装補修) C=914千円 A=426㎡	
担当職員数	0.50	0.40	0.30	0.30	街路整備工事(雨水樹移設) C=84千円 雨水樹移設	
総事業費	26,428	36,494	14,641	21,989	南10丁目東通道路改良舗装工事 C=2,888千円 A=340㎡	
対前年比(%)	—	138	40	150	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	4	5	5	7	総事業費(千円)÷整備面積(㎡)
	活動指標2					
	活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	舗装補修、雨水枡設置などでの水たまりの解消と歩車道縁石の擦りつけ部の段差解消などで、毎年10,000千円、平成25年度からは維持管理補修に重点をおき20,000千円を計画し市民の要望に responding している。
改善点	指摘事項 有 ( ) 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。安心安全な市民生活を送るうえで、幅広く臨機応変に対応する事業として必要とされている。
有効性	a	人にやさしい道路を提供するには不可欠な事業である。なお、融雪後などに要望箇所が多く、部分補修で行うことにより対応が早くできる。
効率性	a	整備に対する要望箇所が多く、道路や排水などを部分改修することにより経費が抑えられる。
公平性	a	公共性のある事業なので、受益者負担の対象とはならない。
達成度	a	活動指標、成果指標を達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	2次改築できない道路などの対応として必要とされており、市民要望に応えるためにも事業を進めていきます。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり。

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。